

【新着参考図書】

『衣の民俗事典』（383.1/ヤマ）

山崎祐子／編 柊風舎 2025.7 582p 16,000円＋税

「衣」をめぐる日本人の生活環境、環境に適した知恵や工夫、関連する行事など、民俗の視点から「衣」を捉えた事典。「紡ぐ・織る・縫う」、「着る・被る・履く」、「読み解く」の三章で構成されている。巻末索引あり。

『郷土の文化財戦後80年都道府県別図書目録』（709.1/ニチ）

日外アソシエーツ／編集・発行 2025.6 1147p 30,000円＋税

寺院・城・史跡・天然記念物・祭り・工芸など、全国の文化財に関連する図書28,570点を都道府県別に収録。巻末に事項名索引あり。

『「情報」用語活用辞典』 小山透／編著 山川出版 2025.1 (007.03 /コヤ)

『フィールド図鑑日本の野鳥 第3版』 水谷高英／イラスト 叶内拓哉／解説

文一総合出版 2025.6 (488/ミ)

『日本知的財産史事典 トピックス1868-2024』 日外アソシエーツ／編集・発行 2025.5 (507.2/ニチ)

【新着電子書籍】

『令和災害史事典 令和元年～令和5年』

日外アソシエーツ株式会社／編 2024.3 493p 13,500円＋税

「昭和災害史事典」「平成災害史事典」に続く第3弾。自然災害だけでなく人為的な原因による事故や事件も含んでいるのが特徴で、珍しいところでは新幹線のシステムトラブルや山車の横転事故なども掲載されている。「災害別一覧」「都道府県別一覧」付き。

※この本は電子書籍（KinoDen）で閲覧できます。

県立図書館のMyライブラリーID・パスワードをお持ちの方は[こちら](#)からログインしてください。

県立学校や市町村図書館の取寄せIDをお持ちの方は[こちら](#)からログインしてください。

【レファレンス事例】

Q. 剣山の「剣」について、天保以前の文献や地図で違う字体の表記があるか。

A. 1. 所蔵の絵図・地図を確認する。

【A】『阿波国地図』 明和7(1770)年作成

「劔峯」と表記されている。

「徳島県文化の森総合公園とくしまデジタルアーカイブ」で公開

<https://adeac.jp/tokushima-bunkanomori/catalog/mp000400-200010>

2. 『角川日本地名大辞典 36 徳島県』（角川日本地名大辞典編纂委員会／編纂 角川書店 1986.12）、『木屋平村史 改訂』（木屋平村史編集委員会／編 木屋平村 1996.12）の「剣山」の項にある参考資料を確認する。

以下の資料は、徳島県立図書館ＨＰで公開。(デジタルライブラリ＞郷土関係と古書)

<https://library.bunmori.tokushima.jp/digital/monjyo/kmonjyo.html>

【Ｂ】『阿波志 巻三（写本、呉郷文庫本）』 藤原憲／著 1815年

「巻之七 麻植郡」に「大剣山」という項あり。

【Ｃ】『祖谷紀行（写本、呉郷文庫本）』 菊池助三郎武矩／著

寛政5（1793）年4月25日から5月2日の徳島県祖谷への旅行記。

「剣の峯はむかし立石山といへりしが…」とあり。

【Ｄ】『異本阿波志 下（写本、呉郷文庫本）』 後藤豊尚／著

「劔山」とあり。

【Ｅ】『阿州奇事雑話 巻一（写本、呉郷文庫本）』 横井希純／その他

「劔権現」の項に「劔山の前神と号する…」とあり。

『新編阿波叢書 上巻』（新編阿波叢書編集委員会／編 歴史図書社 1976.11）の解説では、「『阿州奇事雑話』は成立年代が未詳であるが、記事内容に於て著者の横井希純は寛政の頃の人と想像される」とある。